

2018年10月30日

各 位

会社名 株式会社 ALBERT
代表者名 代表取締役社長 松本 壮志
(コード番号：3906 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員最高財務責任者 村上 嘉浩
(TEL. 03-5909-7510)

トヨタ自動車・TRI-AD・東京海上日動の高度な自動運転の実現に向けた業務提携 におけるビッグデータ分析及びAIアルゴリズム開発の技術支援に関するお知らせ

当社は、2018年5月15日に業務資本提携に関する適時開示を行ったトヨタ自動車株式会社（以下「トヨタ」といいます。）、そのグループ企業であるToyota Research Institute-Advanced Development, Inc.（以下「TRI-AD」といいます。）、および2018年10月1日に資本業務提携に関する適時開示を行った東京海上日動火災保険株式会社（以下「東京海上日動」といいます。）の3社間での高度な自動運転の実現に向けた業務提携におけるビッグデータ分析及びAIアルゴリズム開発の技術支援を行いますので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 技術支援の内容について

当社は、2018年7月より、「CATALYST（触媒）戦略」を推進しております。当社が主要産業（自動車、製造、通信・流通、金融）間における触媒機能となることで、AIアルゴリズムやビッグデータ分析手法の共通化、データの相互利用を促進し、早期のAIネットワーク化社会の実現に向けて取り組んでおります。

2018年5月には、その端緒として、トヨタと自動運転技術の先行開発分野におけるビッグデータ分析およびAIアルゴリズム開発等において業務資本提携を締結し、2018年10月には東京海上日動と損害保険領域における同内容を目的とした資本業務提携を締結しております。

この度の当社による技術支援は、東京海上日動が保持する事故発生状況や発生原因等のビッグデータをAIアルゴリズムを通じて分析し、そこで得られる事故の特性データをトヨタおよびTRI-ADが保持する自動運転のシミュレーション環境に取り込み、再現することを目的としています。

これによりトヨタおよびTRI-ADでは、より現実の世界に近い状況下でのシミュレーションと検証が可能となり、自動運転システムの安全性向上を図ることができます。

また、東京海上日動では、本取組みを通じて得られたノウハウを、将来的に新たな商品およびサービスの開発に生かしていくことが可能になります。

この3社における「AIをはじめ先端の技術を活用し、安全なモビリティ社会を実現するために、常にオープンな姿勢でさらなる提携を進める」取組みに対し、当社は、今後も支援領域を拡大して参ります。

2. 今後の見通し

現時点では、当社の2018年12月期の業績に与える影響につきましては、軽微であると見込んでおりますが、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせ



いたします。

当社は、自動運転領域にとどまらず、各産業間のAI・データシェアリングを促進し、早期のAIネットワーク化社会の実現に向けて「CATALYST（触媒）戦略」に取り組んでまいります。

以上